

全国月間火山概況

浅間山では、8月8日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

霧島山（新燃岳）では、8月22日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

桜島では、8月28日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

口永良部島では、9月4日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表して、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の火山で予報警報事項に変更はありませんでした。

9月10日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 9月10日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	浅間山、三宅島、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、御嶽山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、雌阿寒岳、丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、二セコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳、那須岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、箱根山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指白岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

浅間山

【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 8月8日に噴火警戒レベル1（平常）から引上げ

7月頃から火山性地震の回数がやや多い状態が続いていました。8月5日以降は回数がさらに増加するとともに、6日頃からは噴煙量も増加しました。これらのことから火山活動が高まったと判断し、8日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続きました。

10日、11日及び14日にごく小規模な噴火が発生しました。山麓でこれらの噴火に伴う降灰は観測されませんでした。

9日以降、夜間時々高感度カメラで微弱な火映が観測されています。

10日から20日にかけて行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり概ね1,200～2,900トンと多い状態が続きました。これは2004年の噴火活動後に観測された量と同程度です。

10日に群馬県の協力により行った上空からの観測では、火口底の地表面温度分布等に特段の変化はありませんでした。

浅間山では、今後火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

4日及び19日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,300～1,800トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移しました。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はみられませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口周辺では噴火等に対する警戒が必要です。また、風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。雨による泥流にも注意が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

独立行政法人防災科学技術研究所及び国土地理院の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しているが、2006年8月以降みられている島全体が大きく隆起する地殻変動が継続しています。

硫黄島では、引き続き火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報】

今期間観測は行われませんでした。なお、これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面に、長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

阿蘇山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

中岳第一火口の湯だまりの表面温度や湯量に大きな変化はありませんでした。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気の状態に特段の変化はありませんでした。

なお、孤立型微動の回数は、7月末以降一日あたり200回程度から100回程度に減少しました。

阿蘇山では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口内及びその周辺では火山灰噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

霧島山（新燃岳）

[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] 8月22日に噴火警戒レベル1（平常）から引上げ

19日から火山性地震の回数が次第に増加し、22日に噴火が発生したことから、火山活動が高まっていると判断し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

噴火の発生は22日16時34分頃で、噴火に伴い振幅の大きな火山性微動が発生し、同日22時過ぎまで続きました。噴火に伴う降灰は、新燃岳の北東側の宮崎県小林市等で確認されました。

24日に行った九州地方整備局及び宮崎県防災救急航空隊の協力による上空からの観測で、新燃岳の火口内の南側及び火口外の西側斜面に複数の新しい火孔が確認されました。また、火口外の西側斜面には火口縁から300m付近まで弾道を描いて飛散する大きな噴石が達しているのを確認しました。

噴火後は火口縁を超える噴煙が観測されており、その高さは火口縁上100～700mで推移しました。火山性地震の回数は次第に減少しました。

なお、今期間、GPS連続観測には、火山活動によるとみられる変化は確認されていません。

新燃岳では、今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲で弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

桜島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] 8月28日に噴火警戒レベル3（入山規制）から引下げ

昭和火口では10日に噴火が1回発生しました。火砕流の発生はありませんでした。

南岳山頂火口では23日に噴火（爆発的噴火）が1回発生しました。このほか、ごく小規模な噴火が24日から26日及び31日に発生しました。

8日及び26日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり500～900トンと前回（7月28日、一日あたり700～1,300トン）と大きな変化はみられませんでした。

これらのことから、昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性が低くなったと判断し、桜島の噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良（あいら）カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しています。

桜島の昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、2008年2月には火砕流を伴う噴火が発生するなど次第に活発化している傾向がみられています。

今後、南岳山頂火口及び昭和火口の周辺に影響を及ぼす程度の噴火が予想されますので、これらの火口周辺では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に、降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発でした。噴煙の高さは火口縁上概ね400mでした。

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] 9月4日に噴火警戒レベル1（平常）から引上げ

口永良部島では、9月2日以降、火山性地震の回数が増え始め、4日にさらに回数が増加したことから、火山活動が高まったと判断し、9月4日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表して、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、地震回数は減少していますが、引き続き新岳火口から1km程度の範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、この範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

1日及び24日から26日にかけて小規模な噴火（爆発的噴火）が時々発生しました。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では今後も御岳火口から1km程度の範囲に弾道を描いて飛散する大きな噴石が達する程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成20年9月10日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (9月10日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	磐梯山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域危険)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。

この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山